

H29国補石岡市運動公園施設(格子フェンス)長寿命化実施工事 位置図



石岡市運動公園

特記仕様書

第1章 総則

本工事の施工にあたっては、「契約約款」「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」「茨城県土木工事施工管理基準」「茨城県土木工事出来高及び品質の規格値」「写真管理基準（案）」並びに本仕様書に基づき施工するものとする。

第2章 工事数量

当該工事における工事数量は、別紙「工事数量総括（内訳）表」のとおりとする。

第3章 現場条件

1. 作業時間帯

本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

作業開始 午前9時00分

作業終了 午後5時00分

2. 安全管理

工事中の安全施設は、地域住民の安全を守り、トラブルを防ぐために十分な施設を設置するとともに、その管理徹底を図り地域住民の安全な通行を図り事故防止に努めなければならない。また、工事の施工にあたっては、交通誘導員および保安員を配置し、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意し施工するものとする。また、休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施するものとする。

3. 使用機械

本工事の施工にあたっては、設計書に記載されている機械を使用するものとし記載されていない機械については使用しないこと。ただし、現場条件等により使用が困難な場合は監督員と協議するものとする。

また、設計書に明記してある排出ガス対策型の機械を使用する場合は、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。

4. 地下埋設構造物

(1) 工事箇所中存在する地下埋設物については、事前調査を行い位置・構造・種別において熟知し、場合によっては試験掘りを行い作業員に至るまで埋設物の全容・取扱い・処置方法について周知徹底を図り事故防止に努めなければならない。

(2) 地下埋設構造物が存在することが判明したとき、又は発見したときは、監督員に報告しその指示を受けなければならない。また地下埋設構造物管理者と綿密な連絡をとり十分協調を保つとともに、工事前及び必要に応じ工事の各段階において施工方法、防護方法等について協議し施工しなければならない。

(3) 埋設物に近接して実施する作業においては、埋設物に衝撃を与える作業機械を使用しない等、埋設物を損傷しないよう留意しなければならない。

5. 廃棄物の処理及び再資源化

(1) 本工事の施工に伴って発生する廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて処理するものとし、指定処分については監督員の指示に基づくものとする。

(2) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。

(3) 受注者は、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、様式1（平成14年5月29日付け事務連絡「公共建設工事における建設リサイクル法に関する事務手続きの当面の運用について（通知）」の様式1）により監督員に報告すること。

I. 再資源化が完了した日

Ⅱ. 再資源化等をした施設の名称及び所在地

Ⅲ. 再資源化等に要した費用

6. 付近の建物等への影響

受注者は工事着手前に近接建物及び構造物の写真撮影を行い工事による影響か否か判断できるようにし、工事による影響があると予想される時及び影響の出た時は、受注者の負担において必要書類を作成し監督員に提出しなければならない。またその処理、対策については監督員と協議しなければならない。

7. 過積載の防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと、並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、又は不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

8. 不正軽油の使用防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方又は燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令（地方税法等）に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

9. 工事カルテ登録の対象工事

本工事は、工事カルテの登録対象工事であるので、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第1編第1章 1-1-5 工事カルテの作成、登録」に則り、工事カルテの工事実績情報サービス(CORINS)への登録及び工事カルテ受領書写しの監督員への提出等を行わなければならない。

第4章 工事用地等

1. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 工事を行うために必要な用地等については、施工に先立ち、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。また、使用に際し必要な関係機関への申請・協議等は施工者の責任において遺漏無く行うものとする。
- (2) 工事期間中の資材置き場及び残土の仮置場等は、十分な安全施設を設置するとともに、

- その管理徹底を図り事故防止に努めなければならない。休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施し安全の確保に努めること。
- (3) 工事用地等の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な処置を講じた後、発注者に通知し、所有者の立会いを行ってから返還しなければならない。

第5章 工事材料

1. 材料

- (1) 工事に使用する材料については、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」に定める条件を満たすものとし、使用前に材料使用届を監督員に提出し承諾を得なければならない。

2. 現場発生品

- (1) 本工事における床堀等による発生土は現場内にて利用するものとする。また、発生土の利用が難しい場合においては、監督員と協議するものとする。

3. リサイクル材の率先利用

使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

受注者は、設計で新材が指定されている場合においても、Aグループに区分された認定資材に代替できる場合は、積極的に努め、代替する旨について、施工計画書提出時に文書で提出し監督員の承諾を得なければならない。また、受注者は、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達が困難な場合は、他の認定資材または新材に変更するものとし、その旨を文書で監督員に提出し承諾を得なければならない。

(1) 認定資材使用一覧

| 施工箇所 | 品目 | 規格 | 再生原料等の指定 |
|--------|----|-------|----------|
| フェンス基礎 | 砕石 | RB-40 | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

第6章 施工計画

1. 検測

本工事の基準点及び水準点（B、M）は監督員の指示するものを検測して使用し、工事着手前に、平面図上の距離・現地盤高の確認を行うこと。また、工事施工上の納まりや、取り合いの関係で、材料・寸法・取付け位置・取付け工法等について止むを得ず行う軽微な変更及び測量誤差に起因する軽微な変更は、監督員と協議する。

2. 任意仮設

- (1) 本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。
- (2) 上記の決定にあたっては、条件等に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、決定・変更するものとする。

第7章 施工管理

1. 施工管理

「茨城県土木工事施工管理基準」に基づいて施工管理を行い、工事完了後速やかに施工管理報告書を提出すること。

2. 工程管理

適宜監督員と協議を行いながら適正な工程管理を行うものとする。

3. 安全管理

- (1) 工事中の安全管理については十分配慮するものとし、現場条件を考慮したものを具備するものとする。
- (2) 本工事で設置した仮設物については、定期的に見回りを実施するとともに、破損箇所を発見した場合またその恐れがある場合は、速やかに補修を行い安全の確保に努めること。

4. 工事記録写真

- (1) 「写真管理基準(案)」及び設計書に基づいて、各工種を測点毎に適切に撮影し、写真集に収めて、工事工程段階及び工事完了後提出する。
- (2) その他必要と認められたもの、監督員に指示されたものは撮影を行うこと。

第8章 その他

1. 現場管理

- (1) 工事完了後、工事のため混入又は飛散した石礫、木片・樹根・番線・ビニール紐・水系等の工事残材は速やかに除去しなければならない。
- (2) 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損又は汚れが生じた場合は、すみやかに監督員に協議し補修及び清掃をしなければならない。

第9章 疑義

本工事において、不明な点又は疑義が生じた場合には、監督員と協議の上、その指示に従うこと。

工事数量総括（内訳）表

第 29-01-298-C-002 号

実施 起工 設計書

| 工事区分 | 工種 | 種別 | 数量 | 単位 | 金額 | 細別内訳 |
|------------|----|----|----|----|-----------------|----------|
| 施設整備 | | | 1 | 式 | | |
| 構造物撤去工 | | | 1 | 式 | | |
| 防護柵撤去工 | | | 1 | 式 | 基礎ブロック(立入防止柵)撤去 | 53.000 個 |
| | | | | | 格子フェンス撤去 | 86.000 m |
| 構造物取壊し工 | | | 1 | 式 | コンクリート構造物取壊し | 1.000 m3 |
| | | | | | | |
| 運搬処理工 | | | 1 | 式 | 殻運搬 | 3.000 m3 |
| | | | | | 殻処分 | 3.000 m3 |
| 管理施設整備工 | | | 1 | 式 | | |
| 柵工 | | | 1 | 式 | フェンス | 86.000 m |
| | | | | | | |
| 仮設工 | | | 1 | 式 | | |
| 交通管理工 | | | 1 | 式 | 交通誘導警備員 | 6.000 人日 |
| | | | | | | |
| 直接工事費計 | | | 1 | 式 | | |
| 共通仮設費（率計上） | | | 1 | 式 | | |
| 共通仮設費計 | | | 1 | 式 | | |
| 純工事費 | | | 1 | 式 | | |
| 現場管理費 | | | 1 | 式 | | |
| 工事原価 | | | 1 | 式 | | |
| 一般管理費等 | | | 1 | 式 | | |
| 工事費計 | | | 1 | 式 | | |
| 工事価格 | | | 1 | 式 | | |

工事数量総括（内訳）表

第 29-01-298-C-002 号

実施 起工 設計書

| 工事区分 | 工種 | 種別 | 数量 | 単位 | 金額 | 細別内訳 |
|--------|----|----|----|----|----|------|
| 消費税相当額 | | | | | | |
| | | | 1 | 式 | | |
| 請負工事費 | | | | | | |
| | | | 1 | 式 | | |

本工事費内訳書

第 29-01-298-C-002 号

実施 起工 設計書

| 工事区分 | 工種 | 種別 | 細別 | 規格 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 摘要 |
|---|----|----|----|----|--------|----|----|----|------------------|
| 施設整備 | | | | | | | | | |
| 構造物撤去工 | | | | | | | | | |
| 防護柵撤去工 | | | | | | | | | |
| 基礎ブロック(立入防止柵)撤去 | | | | | 53.000 | 個 | | | |
| 基礎ブロック(立入防止柵) 作業区分(撤去) | | | | | 53.000 | 個 | | | 施工P 第0001号代価表 |
| 格子フェンス撤去 | | | | | 86.000 | m | | | |
| 格子フェンス撤去 h=1,200 | | | | | 86.000 | m | | | 20170801 |
| 構造物取壊し工 | | | | | | | | | |
| コンクリート構造物取壊し | | | | | 1.000 | m3 | | | |
| 構造物とりこわし 構造物区分(無筋構造物),工法区分(機械施工), 施工規模による加算(10m3未満),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業補正(無),低騒音・低振動対策(必要) | | | | | 1.000 | m3 | | | |
| 運搬処理工 | | | | | | | | | |
| 殻運搬 | | | | | 3.000 | m3 | | | |
| 殻運搬 殻発生作業(Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし),積込工法区分(機械積込),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(15.5km以下) | | | | | 1.000 | m3 | | | 施工P 第0002号代価表 |
| 廃材運搬 運搬距離(15.5km以下) | | | | | 2.000 | m3 | | | |
| 殻処分 | | | | | 3.000 | m3 | | | |

本工事費内訳書

第 29-01-298-C-002 号

実施 起工 設計書

| 工事区分 | 工種 | 種別 | 細別 | 規格 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 摘要 |
|------|----|----|----|---|--------|----|----|----|------------------|
| | | | | コンクリート廃材処理費(中間処理施設) コンクリート塊(無筋) 30cm以下 | 2.000 | t | | | |
| | | | | スクラップ ヘビーH1 | 1.000 | t | | | |
| | | | | 管理施設整備工 | | | | | |
| | | | | 柵工 | | | | | |
| | | | | フェンス | 86.000 | m | | | |
| | | | | 縦格子フェンス | 86.000 | m | | | 第0003号代価表 |
| | | | | 基礎ブロック(立入防止柵) 作業区分(設置) | 52.000 | 個 | | | 施工P 第0004号代価表 |
| | | | | 基礎ブロック砕石 | 52.000 | 個所 | | | 第0005号代価表 |
| | | | | 仮設工 | | | | | |
| | | | | 交通管理工 | | | | | |
| | | | | 交通誘導警備員 | 6.000 | 人日 | | | |
| | | | | 交通誘導警備員B | 6.000 | 人 | | | |
| | | | | 直接工事費計 | | | | | |
| | | | | 共通仮設費(率計上) | | | | | |
| | | | | 共通仮設費計 | | | | | |
| | | | | 純工事費 | | | | | |
| | | | | 現場管理費 | | | | | |

本工事費内訳書

第 29-01-298-C-002 号

実施 起工 設計書

| 工事区分 | 工種 | 種別 | 細別 | 規格 | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 摘要 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 工事原価 | | | | | | | | | |
| 一般管理費等 | | | | | | | | | |
| 工事費計 | | | | | | | | | |
| 工事価格 | | | | | | | | | |
| 消費税相当額 | | | | | | | | | |
| 請負工事費 | | | | | | | | | |

第 0001 号 代価表 基礎ブロック(立入防止柵)

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)

第 29-01-298-C-002号

1.000 個 当り

| 名称 | 構成比 | 単位 | 東京単価 | 地区単価 | 摘要 |
|---------|--------|----|----------------|------|----|
| 普通作業員 | 89.840 | % | | | R1 |
| 土木一般世話役 | 10.160 | % | | | R2 |
| | | | (標準単価 積算単価) | |) |

| 条件名称 | 入力値 | 入力名称 |
|------------|-----|------|
| J 0 1 作業区分 | 2 | 撤去 |

第 0002 号 代価表 殻運搬

施工P(機47.91%, 労36.88%, 材15.21%, 市0.00%)

第 29-01-298-C-002号

1.000 m3 当り

| 名称 | 構成比 | 単位 | 東京単価 | 地区単価 | 摘要 |
|--------------------------------|--------|----|----------------|------|----|
| ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級 | 47.910 | % | | | K1 |
| 運転手 (一般) | 36.880 | % | | | R1 |
| 軽油 1.2号 (陸上用) | 15.210 | % | | | Z1 |
| | | | (標準単価 積算単価) | |) |

| 条件名称 | 入力値 | 入力名称 |
|------------------------|-----|---------------------|
| J01 殻発生作業 | 1 | Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし |
| J02 積込工法区分 | 1 | 機械積込 |
| J03 DID区間の有無 | 1 | 無し |
| J04 運搬距離 (km) (DID区間無) | 13 | 15.5km以下 |

第 0004 号 代価表 基礎ブロック(立入防止柵)

施工P(機0.00%, 労59.04%, 材40.96%, 市0.00%)

第 29-01-298-C-002号

1.000 個 当り

| 名称 | 構成比 | 単位 | 東京単価 | 地区単価 | 摘要 |
|--------------------|--------|----|---------------|------|----|
| 普通作業員 | 53.050 | % | | | R1 |
| 土木一般世話役 | 5.990 | % | | | R2 |
| 基礎ブロック 200*200*450 | 40.960 | % | | | Z1 |
| | | | (標準単価 積算単価 | |) |

| | | | |
|-------|--------------|----------|------------|
| J 0 1 | 条件名称 作業区分 | 入力値 1 | 入力名称 設置 |
|-------|--------------|----------|------------|

第 0006 号 代価表 基礎碎石

施工P(機4.96%, 労76.11%, 材18.93%, 市0.00%)

第 29-01-298-C-002号

1.000 m2 当り

| 名称 | 構成比 | 単位 | 東京単価 | 地区単価 | 摘要 |
|--|--------|----|----------------|------|----|
| バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) | 4.930 | % | | | K1 |
| 普通作業員 | 39.590 | % | | | R1 |
| 特殊作業員 | 17.190 | % | | | R2 |
| 土木一般世話役 | 9.920 | % | | | R3 |
| 運転手(特殊) | 8.890 | % | | | R4 |
| 碎石RB-40 | 16.110 | % | | | Z1 |
| 軽油 1.2号(陸上用) | 2.810 | % | | | Z2 |
| | | | (標準単価 積算単価) | |) |

| 条件名称 | 入力値 | 入力名称 |
|-------------|-----|----------------|
| J 0 1 碎石の厚さ | 2 | 7.5cm超12.5cm以下 |
| J 0 2 碎石の種類 | 10 | 碎石(各種) |

工事名:H29国補石岡市運動公園施設(格子フェンス)長寿命化実施工事

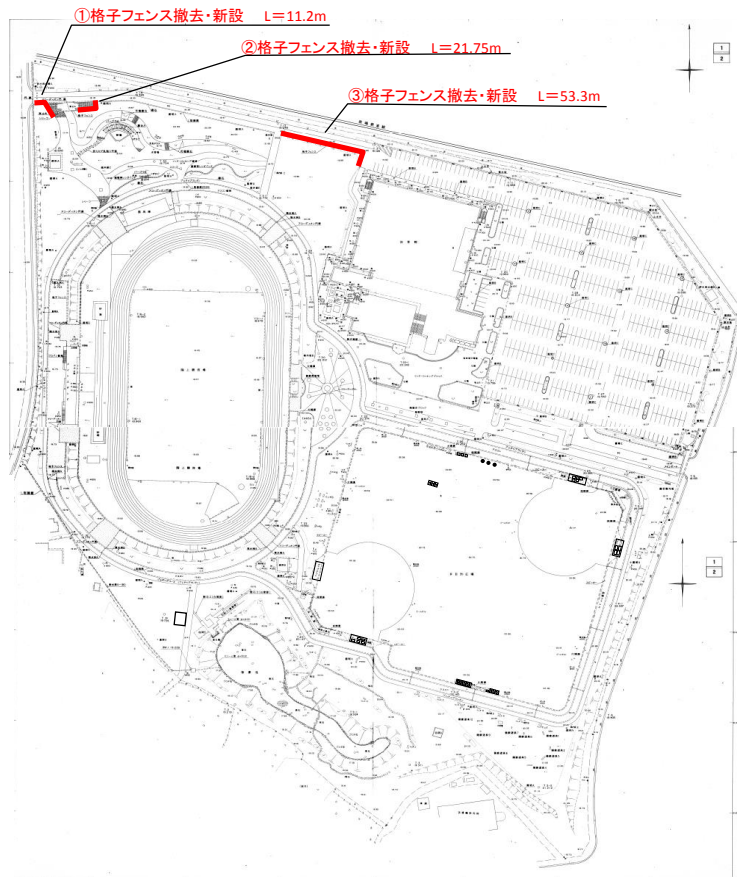
数 量 総 括 表

事業区分:

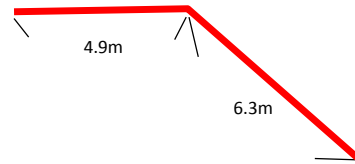
工事区分:

| 工 種 | 種 別 | 細 別 | 規 格 | 単位 | 元数量 | | 変更出来高 数量 | 元数量と変更 出来高数量差 | 変更設計数量 | 摘 要 |
|---------|---------------------|-----------|--------------------------------|----|------|------|-------------|------------------|--------|-----|
| | | | | | 計算数量 | 設計数量 | | | | |
| 構造物撤去工 | | | | 式 | 1.0 | 1.0 | | | | |
| | 基礎ブロック(立 入防止柵)撤去 | | | 個 | 53.0 | 53.0 | | | | |
| | | 基礎ブロック撤去 | 0.2*0.2*0.45 | 個 | 53.0 | 53.0 | | | | |
| | 格子フェンス撤去 | | | m | 86.3 | 86.0 | | | | |
| | | 格子フェンス撤去 | h=120 | m | 86.3 | 86.0 | | | | |
| 構造物取壊し工 | | | | 式 | 1.0 | 1.0 | | | | |
| | コンクリート構造 物取壊し | | | m3 | 0.95 | 1.0 | | | | |
| | | 構造物取壊し | $0.2*0.2*0.45*(31+14+8)=0.954$ | m3 | 0.95 | 1.0 | | | | |
| 運搬処理工 | | | | 式 | 1.0 | 1.0 | | | | |
| | 運搬処理工 | | | | | | | | | |
| | | 運搬(Co) | $0.2*0.2*0.45*(31+14+8)=0.954$ | m3 | 0.95 | 1.0 | | | | |
| | | 運搬(スクラップ) | $15.8 \div 7.85 = 2.01$ | m3 | 2.01 | 2.0 | | | | |
| | | 処分(Co) | $0.954*2.35 = 2.2$ | t | 2.2 | 2.0 | | | | |
| | | 処分(スクラップ) | $86.25*15.8 = 1.36$ | t | 1.4 | 1.0 | | | | |
| 管理施設整備工 | | | | 式 | 1.0 | 1.0 | | | | |
| | 柵工 | | | 式 | 1.0 | 1.0 | | | | |
| | | 格子フェンス設置 | h=120 | m | 86.3 | 86.0 | | | | |
| | | 基礎ブロック設置 | 0.2*0.2*0.45 | 個 | 52.0 | 52.0 | | | | |
| | | | | | | | | | | |

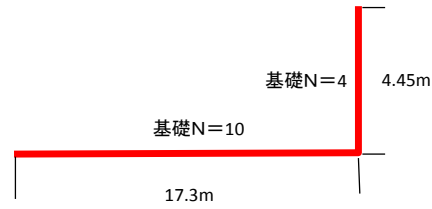
H29国補石岡市運動公園施設(格子フェンス)長寿命化実施工事 撤去数量計算書



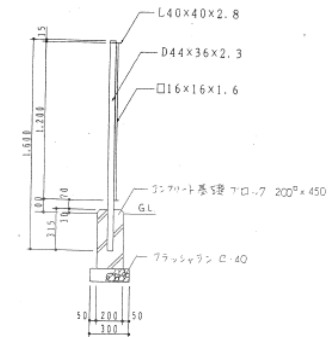
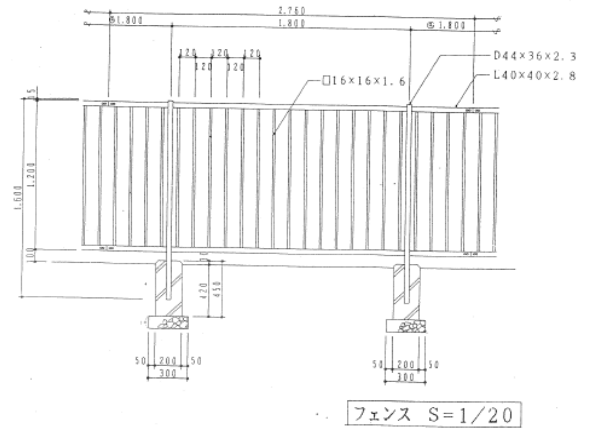
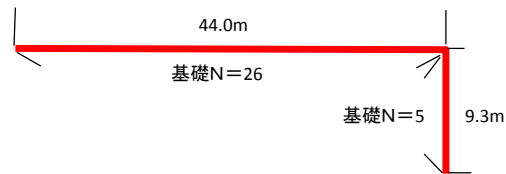
①L=11.2m 基礎 N=8



②L=21.75m 基礎 N=14



③L=53.3m 基礎 N=31



■コンクリート基礎撤去

$$0.2m * 0.2m * 0.45 * (31 + 14 + 8) = 0.954m^3$$

$$0.954 * 2.35 = 2.2419t$$

■格子フェンス撤去

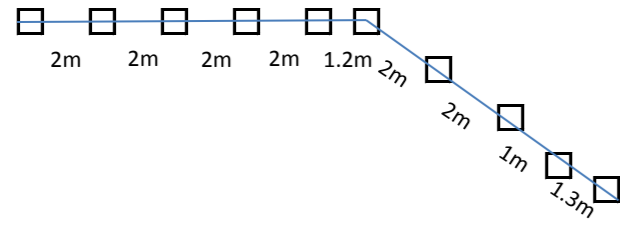
$$15.8kg/m$$

$$86.25 * 15.8 = 1362.75kg = 1.36275t$$

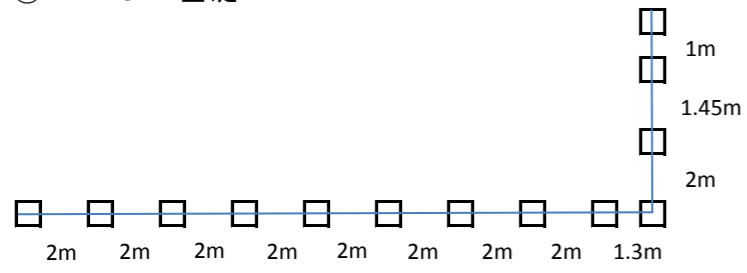
$$15.8 \div 7.85 = 2.01m^2$$

格子フェンス 割付図

①L=11.2m 基礎N=10



②L=21.75m 基礎N=14



③L=53.3m 基礎N=28

